

# 株式会社 プランテムタナカ

鹿児島県鹿児島市七ツ島1丁目1-26

設 立 1948年

資 本 金 3,000万円

従 業 員 数 37名



株式会社  
プランテムタナカ  
企業 HP



## 事業内容

社名のプランテムタナカは、PLANT（プラント）とSYSTEM（システム）を組み合わせた造語です。日々の暮らしに欠かせない水資源の公共インフラを、長年培った技術力で支えます。

## ●学生サポーター的魅力ポイント●

### 設計から点検まで、 地域の水を支えるワンチーム

株式会社プランテムタナカは、私たちの暮らしに欠かせない「水」に関わる設備の設計・製作・据付・メンテナンスまで一貫して行っている会社です。人々の生活に必要不可欠だからこそ、優しく、厳しく、そして何よりも鹿児島県に対して大きな愛情をもって取り組まれている会社です。

機械グループ課長  
高崎 友稔さん（父）



入社1年目  
高崎 璃矩さん（息子）



## 主な業務内容

高崎さんは機械グループ課長として大型ポンプの据付工事や排水機場・クレーン設備のメンテナンスなど幅広い機械設備の対応を行っています。

## 会社の雰囲気

会社の雰囲気を尋ねた際に、「最高です!」と話してくださった笑顔が印象的でした。インタビューを通して、年齢や性別に関係なく、周りの社員と笑顔で話していらっしやる場面がたくさんありました。全社一丸となり、地域を支えたいという強い気持ちを大切にしているプロフェッショナル集団だなと感じました。

## 今後の目標

これからも県民の皆さまに信頼していただけるように、会社として、また一人の人間として、さらに成長していきたいと話していました。

## 働くきっかけ

働いている父の姿を見て、どのような仕事が気になったことや、インターンシップに参加するうちに自分のやりたいことが明確になってきたため、入社を決めたそうです。父と同じ部署で働いているので、業務を進める中で分からないことがあれば丁寧に教えてくれて、大変頼りになると話していました。

## 鹿児島で働く魅力

自然が豊かであることだそうです。特に高崎さんは、ご出身である指宿の温泉が好きだと話していました。釣りが趣味ということもあり、自然に囲まれた場所で働くことができて幸せを感じているそうです。

## 今後の目標

今は上司や周りの仲間から教わっている立場ですが、今後は教わったことを次世代につなげていきたいと話していました。



入社2年目  
鎌田 汰知さん

## 主な業務内容

鎌田さんは製缶グループ所属で、工場では水に関わる製品の製作を行い、現場では各種ポンプ施設の点検やメンテナンスを行っているそうです。

## 印象に残っている出来事

農作物に必要な水を送るポンプ整備の現場代理人を務めたことです。初めて責任者という重責を担い緊張感があったと話します。そのため現場での業務前には、安全に作業を進めることができるように準備を怠らず、実際の現場では、一つ一つの作業内容を先輩や上司と丁寧に打ち合わせをして、ワンチームで行いました。



## 今後の展望

所属する製缶グループの工場長のように、難しい図面を素早く理解し、構造を捉えてよりスムーズに業務を進められるようになりたいと話していました。

※製缶＝鉄やステンレスといった金属に切断・曲げ・溶接などの加工を行い、立体的な製品（クレーン、圧力タンク等）を製作する機械加工の一種

## 学生へのコメント

当社では「人」を何より大切にし、一人ひとりがやりがいを持って働ける環境づくりに力を入れています。昨年度は4名、そして今年度も3名の新入社員を迎えることができました。これからの時代、技術の進化や社会の変化に柔軟に対応しながら、地域社会に貢献していくことが求められます。皆さんの新しい視点やアイデアが、当社の未来を切り拓く原動力となることを期待しています。鹿児島島のインフラを支える誇りを胸に、共に成長し、共に未来を創っていきましょう。

プランテムタナカ 専務取締役 田中 祐太郎さん



## 取材後の感想



高 凜太郎さん

親子で働いていたり社員同士の交流が増えるような仕組みがあるなど、楽しく仕事ができる環境が整っている会社だと感じました。また、水に関する整備を一貫して担っているやりがいのある仕事だと感じました。



長野 比呂さん

創業100年越えの信頼と経験、まちの水インフラを支えるという責任を持ち、ひとつのチームとして知識や技能・技術を磨き続けていると感じました。



西原 来海さん

特に印象に残ったのは、働いている社員の方々の心が、ブレずに1つであることです。水のインフラを支えるために、挑戦を恐れず、スキルを高め続けたいという強い気持ちを感じられました。



※掲載している情報は2026年1月時点のものです。